

平成26年度決算

一般会計
特別会計

71億円を検証!!

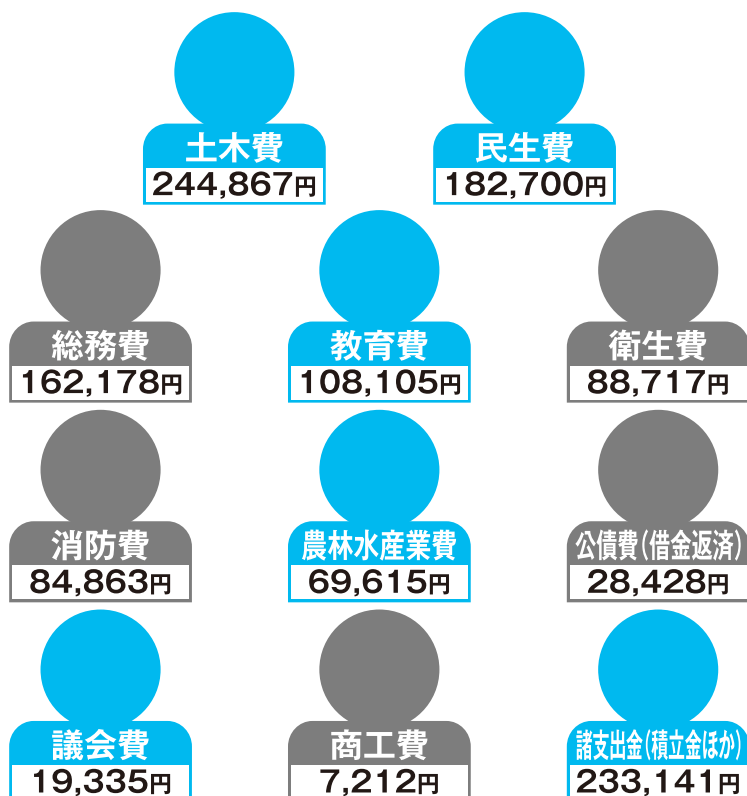


一般会計決算

歳入(財源)	59億7,759万円
歳出(使いみち)	56億5,291万円
差引額	3億2,468万円

◆歳出総額 56 億 5,291 万円
村民 1 人あたり・・・

122万9,160円



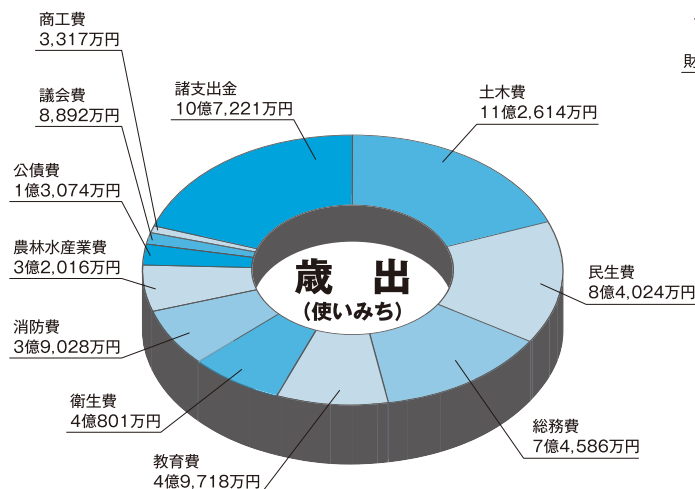
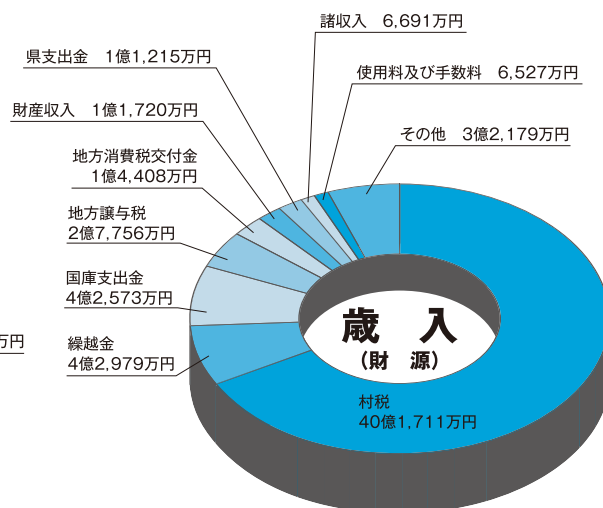
9月定例会のあらまし

9月定例会は、7日に招集され、25日までの19日間の会期で開かれました。
条例改正2件、補正予算6件、平成26年度の会計決算7件の15議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

また最終日には、財産の取得1件、工事契約の変更1件、人事案件2件、議員提案の会議規則改正1件と意見書4件が追加提出され、いずれも原案のとおり可決・採択しました。

一般質問は、会期11日目(9月17日)に7人が当面する村政の問題をたえました。

一般会計



質疑

問 三福と大宝の避難所の利用状況はどうか。

答 内覧会と防災訓練で使用した。どちらも鍵はお渡ししているが、まだ地区の会合をするまでには至っていない。

問 竹之郷・古政地区の避難所は旧中学校になっているが、今年の防災訓練は総合体育館だった。旧中学校の避難所の中を知らない人も

いるが、なぜ総合体育館でやったのか。

答 今年は北竹之郷が避難訓練に参加すると聞いたので近い総合体育館にした。旧小学校の北拠点避難所の完成後、見ていただけるように土日で1日開放したいと考えている。

問 総務管理事務事業の中の放送受信料は何か。

カーナビでテレビを見ることがあるのか。

答 カーナビは2台だがNHKの放送受信料で、災害発生時には必要のためつけている。

問 財務管理システムの調書作成委託とは何か。飛鳥独自のものか。

答 3年にわたり比較できる予算説明資料を議会からお話をいただき手人力で作成していたが、財務会計システムから出せるようにした。飛鳥独自のものである。

問 電算関係では例えば固定資産という言葉が

幾つかあり、合計は1000万近い。契約をまとめて少しでも安くする努力をしていたいただきたい。

答 税額計算・納税通知書発送・償却資産のデータ入力等の委託、評価替え業務、図面管理

のシステム保守、それぞれのシステム使用料で各専門分野が分かれている。

問 今までは1割増、今年度のプレミアム商品

券は2割増で効果はあったようなので、引き続き2割の計画でやってほしい。

答 今回は国とのタイアップで他市町村と連携できたが、今後のことは不確定である。

問 総合型スポーツクラブは500万の補助を出しているが、事業をやればやるだけ赤字に

なるといふ状況で、今後のあり方はどうか。

答 中身を改善するなりし、今後も500万の補助で、できる限り続けていきたい。

問 飛鳥の基金は95億ほどあるので、貯めるだけでなく住民負担の軽減措置をしてほしいが、どうか。

答 健康づくりや子ども

たちの環境整備、勉学の費用、災害に対する費用等、出すべきところనికిちんと負担していきたい。

討論

賛成…鈴木義男議員

津波用避難ビルの維持管理費は将来的に膨大なものになると思われるので、反対する。

反対…橋本 渉議員

飛鳥村は豊かな財政を持っているので、もともと住民の健康増進や負担軽減のために使うべきだと考え反対する。

賛成…渡邊一弘議員

安心・安全・安定の村づくり推進に向け、事業計画に沿って適切に執行されており、今後も最良な事業の推進と予算の執行を望み、村民の生活環境の向上に努力することを願う賛成する。

(賛成7 反対2で認定)

決算額

(千円以下切り捨て)

会 計 名		歳 入 額	歳 出 額	差 引 額
国民健康保険		6億629万円	5億2,752万円	7,877万円
農業集落排水処理施設事業		1億5,857万円	1億5,585万円	272万円
土地取得		100万円	100万円	0円
介護保険	保険事業勘定	4億302万円	3億9,940万円	362万円
	サービス事業勘定	122万円	61万円	61万円
後期高齢者医療		6,234万円	6,154万円	80万円
宅地造成事業		3億9,050万円	3億9,050万円	0円

特別会計

国民健康保険

質疑

問 26年度の決算は黒字か赤字か。

答 黒字である。

問 黒字であるなら一般会計からの繰り入れを返さずに負担軽減に使うべきではなかったか。

答 26年度は医療費が比較的安定していたので、繰入金は半分で済んだ。

討論

反対：橋本 渉議員

飛鳥の保険税は標準課税で計算すれば他市町より安い、実際の負担額はかなり高い。また低所得者層も負担が大きい。均等割・平等割の金額を下げてもらうと助かるので反対する。

賛成：小川政徳議員

毎年増加傾向にある医療費と不安定な社会情勢を鑑みれば、住民の負担増は避けられないが、今

以上の住民負担を増やさず、堅実な国保財政を目指し努力することを願います。賛成する。

(賛成8 反対1で認定)

農業集落排水処理施設事業

質疑

問 集排の使用料金は毎年4月1日現在で計算される。しかし、途中で人数が減っても1年間は払わなければならない。そういった条例はおかしいのではないか。改善する余地はあるか。

答 今の算定方法は従量制でなく定額制を採用している。見直しをすると流入施設等の使用料との兼ね合いから、今後今の料金体系で進めたい。

答 今の算定方法は従量制でなく定額制を採用している。見直しをすると流入施設等の使用料との兼ね合いから、今後今の料金体系で進めたい。

(全員賛成で認定)



農業集落排水処理施設

土地取得

(全員賛成で認定)

介護保険

討論

反対：橋本 渉議員

介護保険制度は自己負担が大きくなっている。保険料も大きく上げられ、自己負担のために利用できない現状も出てきている。制度自体にも問題があるため反対する。

賛成：井田晴己議員

第6期介護保険計画を見ると要介護認定者が増加することが予想されている。介護予防事業の展開と適正なサービスの提供で、いつまでも住み慣れた地域でできる限り自立した生活が送れるよう適切な運営を願います。賛成する。

(賛成8 反対1で認定)

後期高齢者医療

討 論

反対：橋本 渉議員

この制度は高齢者を医療から区別する制度であり、病院から出される状況も生まれている。また医療費の負担も増大しており、この会計のあり方そのものに反対する。

賛成：鈴木康祐議員

この会計は高齢者の保

険料を広域連合に納付するための会計であり、高齢者が安心して医療を受けるための制度である。今後も事業の充実や高齢者の方々に制度に対する理解を深めていただくことを願う賛成する。

(賛成8反対1で認定)

宅地造成事業

(全員賛成で認定)

基金名		平成26年度末現在高
財政調整基金	現金等	44億7,528万円
地域整備基金	現金等	40億5,532万円
減債基金	現金等	2,783万円
人材育成基金	現金等	5億1,000万円
地域福祉振興基金	現金等	1億3,650万円
国民健康保険 支払準備基金	現金等	3,118万円
土地開発基金	不動産 (土地 雑種地)	4,514.00㎡
	現金等	3億1,180万円
介護給付費準備基金	現金等	3万円
基金合計	現金等	95億4,794万円

監査委員の決算審査意見

平成26年7月15日から7月30日にかけて監査委員伊藤幹男氏、井田晴己氏により、決算審査が行われました。

一般会計、特別会計、土地開発基金の運用状況を審査した結果をまとめ、8月26日に意見書として村長に提出しました。

審査の結果および意見

平成26年度一般会計、特別会計の歳入歳出決算に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められました。また、基金の運用状況を示す書類の計数についても、特に問題とする事項はありませんでした。

一般会計は形式収支、実質収支が黒字となっており、必要な財源の確保と効率的な財政運営に努められた結果であると認められます。

歳入面を見ますと村税を始めとする自主財源は、83・10%を占め、消費税が8%に増税されたことから、国内消費の冷え込み等による減少が懸念されたが、前年度に比べ7・61%増加するとともに

とも安全・確実、かつ有利な運用に努めてください。

特別会計は、国民健康保険税、農業集落排水処理施設使用料及び後期高齢者医療保険料の徴収率は上昇しましたが、介護保険料は徴収率が低下し、収入未済額が増加しています。保険料、使用料などにおいては関係各課一体となって徴収率向上に向けて努力するとともに、滞納者の経済状況等を精査し、適切な滞納整理が実施されることを期待します。

審査意見より(要旨)



意見書を村長に手渡しする委員